

伊万里市公告第65号

公 告

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第19条第5項の規定により地域計画（地域農業経営基盤強化促進計画）を変更したので、同条第8項の規定により公告します。

令和7年10月22日

伊万里市長 深浦



1 地域計画を変更した地区

- (1) 大坪地区
- (2) 松浦地区
- (3) 二里地区
- (4) 東山代地区
- (5) 山代地区

2 掲載場所

伊万里市役所農業振興課 伊万里市立花町1355番地1
伊万里市ホームページ

地域計画から除外する土地(単位 : m²)

番号	町名・大字	字	地番	地目	田	変更理由
1	立花町	字鷺川内	142番1の全部	田	320	農振除外に伴う変更 (植林)
1	立花町	字鷺川内	144番の全部	田	518	
1	立花町	字高尾	504番の全部	田	1,155	
1	立花町	字高尾	516番の全部	田	222	
2	松浦町山形	字井手ノ上	5858番1の全部	田	1,058	目標地図に位置付ける者の変更
2	松浦町山形	字井手ノ上	5858番2の全部	田	211	
2	松浦町山形	字井手ノ上	5858番3の全部	田	193	
2	松浦町山形	字井手ノ上	5858番4の全部	田	41	
2	松浦町山形	字井手ノ上	5858番5の全部	田	47	
2	松浦町山形	字井手ノ上	5859番2の全部	田	1,944	
2	松浦町山形	字井手ノ上	5859番3の全部	田	1,106	
2	松浦町山形	字井手ノ上	5859番4の全部	田	78	
2	松浦町山形	字井手ノ上	5859番5の全部	田	112	
2	松浦町山形	字井手ノ上	5859番6の全部	田	137	
3	二里町大里	字中町	乙164番の全部	田	2,013	農振除外に伴う変更(駐車場建設)
4	東山代町川内野	字柳谷	5491番の全部	田	657	農振除外に伴う変更 (太陽光発電設備用地)
4	東山代町川内野	字柳谷	5492番の全部	田	506	
4	東山代町川内野	字山犬川	5515番1の全部	田	1,250	
5	山代町楠久	字茅野一	1595番1の全部	田	711	農振除外に伴う変更 (資材置場)
5	山代町楠久	字茅野一	1595番2の全部	田	1,200	
5	山代町楠久	字茅野一	1595番3の全部	田	249	
	合計		21筆		13,728	

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年10月22日 (第2回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	伊万里市 41205
地域名 (地域内農業集落名)	大坪地区 (屋敷野、永山、白野、上古賀、下古賀、六仙寺、西円蔵寺、 富士町、渚、新天町、中井樋)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	95.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	89.6 ha
② 田の面積	86.6 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	8.5 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	16.4 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・本地区には、大坪地区7集落、立花地区4集落の11集落があるが、市の中心市街地を含む地域であり、宅地やアパートの建設など農地以外への転用が多く見られる地域である。各集落に生産組合があるものの、近年では農業者の減少や宅地等への転用から生産組合を解散する集落も出てきている。

・大坪地区は水稻が中心であるが、一部の集落で認定農業者が麦などの裏作を行っている。また、地区内には2つの国営団地があり、古賀団地については認定農業者が畜産を営んでいる。今岳団地については、稲作のほか、玉ねぎやかぼちゃんなどの作付けがなされているが、荒廃農地も一定数見受けられる。屋敷野集落、上古賀集落、下古賀集落が中山間地域等直接支払交付金制度に取り組むことで農地を維持管理しているが、後継者は不足している。また、上古賀・下古賀集落の一部の農地については集落営農の仕組みにより農地を維持している。永山集落については、地区内を将来的に西九州自動車道を通る計画となっており、集落から離れた農地を中心に営農を行う。白野集落、六仙寺集落、西円蔵寺集落については地区内に農地はあるものの、周辺集落からの入り作が主となり、それぞれの集落での農業者は少なく、後継者がいない。

・立花地区は水稻が中心。市の中心市街地を含む地域であり、地区内に基盤整備がなされた農地は少ない。当地区には、富士町集落が中山間地域等直接支払交付金制度に取り組んでおり、補助事業の活用により農業生産活動や農地の保全管理が行われているが、年々構成員が減少している。渚集落については地区内に農地が点在しているものの、地区内のため池が使用されなくなるなど、営農が縮小傾向にある。また、新天町集落、中井樋集落については、農業者の減少から令和6年度に生産組合を解散している。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・中山間地域等直接支払交付金制度や多面的機能支払交付金制度などを活用し、水稻を中心に営農の継続を図る。裏作については、認定農業者等に農地を集積・集約し、麦、大豆を中心とした土地利用型農業を展開する。
- ・集落営農に取り組む集落については、次世代の人材育成に取り組むとともに、経営所得安定対策制度の活用や高性能機械の導入などにより収益性の高い経営を目指す。
- ・中心市街地付近の農地については都市機能との調和を図るとともに、耕作放棄の発生の抑制に努める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地バンクへの貸付を進めつつ、担い手(認定農業者、機械利用組合等)へ農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	9.4 %	将来の目標とする集積率	9.4 %
--------	-------	-------------	-------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

個人ごとの営農が主であるため、集団化については近隣の農業者による協議により小規模での集団化を目指していく。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組

担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農業委員や農地利用最適化推進委員と調整し、農地中間管理機構を通じて進める。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農業委員や農地利用最適化推進委員と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。

(3) 基盤整備事業への取組

現時点で基盤整備事業に活用計画はない。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市及び県、JAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

水稻作付においてヘリ防除の利用を希望する農業者を伊万里市農業協同組合がとりまとめ、オペレーターを派遣しヘリ防除を行う。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①有害鳥獣の駆除や被害防止対策(侵入防止柵)を実施するほか、新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。
- ②一部の地域において環境保全型農業直接支払交付金を活用し、化学肥料や農薬を低減した農業への取組を推進していく。
- ⑦多面的機能支払交付金制度を活用し、農地の有する多面的機能の最大限発揮できるよう取り組む。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		繁殖牛,肥育牛	ha	ha	繁殖牛,肥育牛	ha	ha		牛18頭
認農		水稻,麦,胡	3.69 ha	ha	水稻,麦,胡	3.69 ha	ha	上古賀、下古賀	
認農		肥育牛	ha	ha	肥育牛	ha	ha		牛572頭
認農		米,麦,玉葱	1.24 ha	ha	米,麦,玉葱	1.24 ha	ha	上古賀、下古賀	
到達		水稻	0.50 ha	ha	水稻	0.50 ha	ha	渚	
到達		水稻	0.57 ha	ha	水稻	0.57 ha	ha	下古賀	
到達		水稻	2.00 ha	ha	水稻	2.00 ha	ha	上古賀、下古賀	
到達		水稻	0.95 ha	ha	水稻	0.95 ha	ha	上古賀	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	8経営体		8.95 ha	0 ha		8.95 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する
集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は
「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積
を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、
経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努め
てください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	伊万里市農業協同組合	へり防除	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

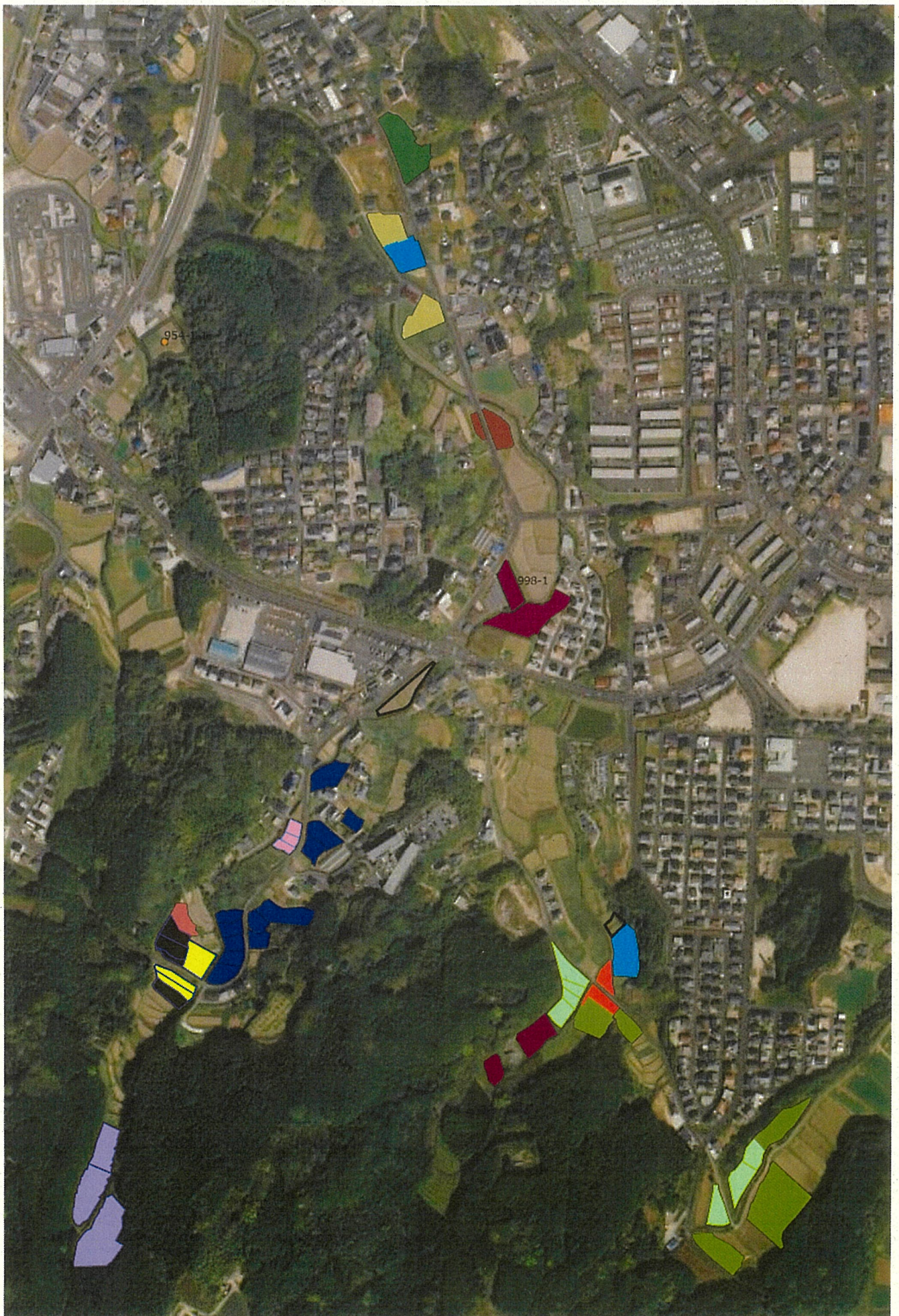
7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。



地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年10月22日 第1回
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	伊万里市 41205
地域名 (地域内農業集落名)	松浦地区 (東分、上原、下分、下平、梅岩、岳坂、村分、藤川内、 久良木、宿分、上分、中通、金石原)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	282.5 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	277.1 ha
② 田の面積	218.8 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	63.7 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	31.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・本地区には13集落があり、地区内を流れる河川を挟むようにして一段の農用地が広がっている。地域には水稻やWCSと果樹を複合で行う認定農業者が多く、近年では施設イチゴの新規就農者が増えている。

・一段の農用地が広がる区域については、集落間の境がはっきりしておらず、相互の集落において入り作・出作が多い。また裏作については、認定農業者などの担い手が麦などの作付けを行っている。

・果樹については、上原集落に梨団地があるが、後継者が決まっていない園が多い。一方で、藤川内集落から岳坂集落にかけて広がる果樹園については、農業法人が進出しており、キウイフルーツを大規模に作付けしている。地区内を通るバイパス道路には果樹の直売所が点在している。

・地区内のうち4集落(東分、梅岩、岳坂、上分)が中山間地域等直接支払制度に取り組んでおり、農地の維持管理に取り組んでいるが、構成員の高齢化から対象農地については減少傾向にある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・河川を挟むようにして広がる一段の農用地については、裏作にも取り組むことにより収益性の高い経営を目指す。また、認定農業者などの担い手を中心に農地の集積・集約に取り組む。
- ・多面的機能支払交付金制度を活用し、農地の持つ多面的な機能を最大限発揮できるよう農地の保全を図る。また、山間部の生産性の不利な農地については、中山間地域等直接支払交付金事業の活用や有害鳥獣対策の強化により農業生産活動を維持していく。
- ・果樹については、親元継承や第三者継承を視野に入れた後継者の確保に努め、産地の維持・拡大を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地バンクへの貸付を進めつつ、担い手(認定農業者、機械利用組合等)へ農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	41.9	%	将来の目標とする集積率	41.9	%
--------	------	---	-------------	------	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

個人ごとの営農が主であるため、集団化については近隣の農業者による協議により小規模での集団化を目指していく。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組

担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農業委員や農地利用最適化推進委員と調整し、農地中間管理機構を通じて進める。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農業委員や農地利用最適化推進委員と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。

(3) 基盤整備事業への取組

現時点で基盤整備事業に活用計画はない。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市及び県、JAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

水稻作付においてヘリ防除の利用を希望する農業者を伊万里市農業協同組合がとりまとめ、オペレーターを派遣しヘリ防除を行う。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☒ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①有害鳥獣の駆除や被害防止対策(侵入防止柵)を実施するほか、新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。

⑤後継者がいない果樹園については第三者継承を視野に入れた後継者の確保に努める。必要に応じて農業法人等への農地の集積・集約を検討する。

⑦多面的機能支払交付金制度を活用し、農地の有する多面的機能の最大限発揮できるよう取り組む。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
			na	na		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	36経営体		118.5 ha	0 ha		118.5 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	伊万里市農業協同組合	へり防除	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	稲作,露地	4.90 ha	ha	稲作,露地	4.90 ha	ha	梅岩、岳坂、村分、久良木	
2	認農	稲作,梨	3.29 ha	ha	稲作,梨	3.29 ha	ha	岳坂、久良木	
3	認農	梨,水稻	1.97 ha	ha	梨,水稻	1.97 ha	ha	上分	
4	認農	水稻,麦,大	3.51 ha	ha	水稻,麦,大	3.51 ha	ha	東分、下分	
5	認農	梨,水稻,大	1.94 ha	ha	梨,水稻,大	1.94 ha	ha	上原	
6	認農	梨,水稻,玉	4.39 ha	ha	梨,水稻,玉	4.39 ha	ha	下平、村分、久良木	
7	認農	繁殖牛	ha	ha	繁殖牛,水稻	ha	ha	牛16頭	
8	認農	玉葱,梨,水	5.12 ha	ha	玉葱,梨,水	5.12 ha	ha	下分、下平	
9	認農	水稻,麦,胡	0.73 ha	ha	水稻,麦,胡	0.73 ha	ha	東分、下平	
10	認農	玉葱,梨,水	2.51 ha	ha	玉葱,梨,水	2.51 ha	ha	久良木	
11	認農	キウイフル	37.02 ha	ha	キウイフル	37.02 ha	ha	岳坂、久良木	
12	認農	梨,水稻,麦	5.43 ha	ha	梨,水稻,麦	5.43 ha	ha	下分、梅岩、村分、久良木	
13	認農	梨,玉ねぎ,ア	4.45 ha	ha	梨,玉ねぎ,ア	4.45 ha	ha	久良木	
14	認農	梨,水稻	2.96 ha	ha	梨,水稻	2.96 ha	ha	中通	
15	認農	梨,水稻,露	5.47 ha	ha	梨,水稻,露	5.47 ha	ha	上分、中通	
16	認農	ブドウ,みか	3.48 ha	ha	ブドウ,みか	3.48 ha	ha	上分	
17	認農	繁殖牛	4.83 ha	ha	繁殖牛	4.83 ha	ha	下分	
18	認農	水稻,麦類,ア	4.05 ha	ha	水稻,麦類,ア	3.55 ha	ha	久良木、宿分、金石原	
19	認農	水稻,WCS,ア	1.42 ha	ha	水稻,WCS,ア	1.42 ha	ha	金石原	
20	認農	米,麦,玉葱	0.84 ha	ha	米,麦,玉葱	0.84 ha	ha	下分、梅岩、村分	
21	認就	施設キュウ	0.52 ha	ha	施設キュウ	0.52 ha	ha	久良木	
22	認就	施設いちご	1.13 ha	ha	施設いちご	1.13 ha	ha	久良木、宿分	
23	認就	施設いちご	1.26 ha	ha	施設いちご	1.26 ha	ha	藤川内、上分	
24	認就	施設いちご	1.47 ha	ha	施設いちご	1.47 ha	ha	上分、中通	
25	認就	アスパラガ	0.61 ha	ha	アスパラガ	0.61 ha	ha	下平	
26	認就	アスパラガ	0.90 ha	ha	アスパラガ	0.90 ha	ha	宿分	
27	認就	施設いちご	1.31 ha	ha	施設いちご	1.31 ha	ha	東分	
28	到達	水稻	2.39 ha	ha	水稻	2.39 ha	ha	久良木、宿分	
29	到達	水稻	1.95 ha	ha	水稻	1.95 ha	ha	藤川内、久良木	
30	到達	水稻,施設し	1.75 ha	ha	水稻,施設し	1.75 ha	ha	宿分、金石原	
31	到達	水稻	1.05 ha	ha	水稻	1.05 ha	ha	上原	
32	到達	水稻	2.30 ha	ha	水稻	2.30 ha	ha	宿分	
33	到達	水稻	1.08 ha	ha	水稻	1.08 ha	ha	下分、岳坂	
34	到達	水稻	0.26 ha	ha	水稻	0.26 ha	ha	上分、中通	
35	到達	水稻,肉用牛	2.19 ha	ha	水稻,肉用牛	2.19 ha	ha	下分	牛19頭
36	認就	施設いちご	ha	ha	施設いちご	0.49 ha	ha	宿分	



地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年10月22日 (第2回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	伊万里市 41205
地域名 (地域内農業集落名)	二里地区 (東八谷搦、西八谷搦、川東、南川東、古子、大里、福母、金武、 内之馬場、作井手、中田、川内、野添、吉野、飯盛川内)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	225.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	169.5 ha
② 田の面積	181.7 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	4.9 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	88.7 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・本地区には15集落があり、住宅地付近や平坦地、中山間部など幅広く農地が広がっている。大里集落や福母集落、内之馬場集落には平坦な農地が広がっており、土地利用型の作物のほか、施設キュウリや小葱の作付けが多い。また、西八谷搦地区については他集落からの入り作が多く、水利組合を組織して共同の水路等の管理を行っている。大里集落には国営団地があり、飼料作物のほか、アスパラガスなどが作付けされている。

・地区内には、小ねぎや施設キュウリの認定農業者のほか、畜産を営む認定農業者が多い。また、同地区には小ねぎの生産と加工品の販売に取り組む農業法人があり、大規模な営農を行っている。

・集落によっては機械利用組合を組織し、米や麦などの土地利用型作物での営農を行っている集落があり、高齢等により営農が困難になった農業者の農地を請け負ってきたが、組織の後継者の確保が課題である。

・地区内のうち半数の集落(古子、大里、福母、金武、内之馬場、吉野・作井手、中田、川内)が中山間地域等直接支払交付金制度に取り組んでおり、農地の維持管理に取り組んでいる。このうち、中田集落については地元企業との連携による交流人口の増加に取り組むほか、川内集落についてはブランド米の生産を目標としてラベルの作成など、農産物の付加価値向上に取り組んでいる。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・平坦地に広がる農地については、裏作にも取り組むことにより収益性の高い経営を目指す。また、高齢等により営農が困難になった人の農地については認定農業者や集落の機械利用組合などの担い手を中心に農地の集積・集約に取り組む。

・多面的機能支払交付金制度を活用し、農地の持つ多面的な機能を最大限発揮できるよう農地の保全を図る。また、山間部の生産性の不利な農地については、中山間地域等直接支払交付金制度の活用や有害鳥獣対策の強化により農業生産活動を維持していくとともに、ブランド米としての販路の確保など農産物の付加価値向上に取り組む。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地バンクへの貸付を進めつつ、担い手(認定農業者、機械利用組合等)へ農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	12.7	%	将来の目標とする集積率	12.7	%
--------	------	---	-------------	------	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

個人ごとの営農が主であるため、集団化については近隣の農業者による協議により小規模での集団化を目指していく。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組

担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農業委員や農地利用最適化推進委員と調整し、農地中間管理機構を通じて進める。西八谷搦地区については、入り作が多いことから水利組合を中心の農用地の集積・集約化を進める。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農業委員や農地利用最適化推進委員と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。

(3) 基盤整備事業への取組

有田町の古木場ダムの整備が計画されているが長浜干拓は水利の受益地となっているため、農地の保全に取り組む。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市及び県、JAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

水稲作付においてヘリ防除の利用を希望する農業者を伊万里市農業協同組合がとりまとめ、オペレーターを派遣しヘリ防除を行う。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①有害鳥獣の駆除や被害防止対策(侵入防止柵)を実施するほか、新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。
- ③各種補助制度を活用し、ラジコン草刈り機やドローン等を導入し、農作業の省力化を図る。
- ⑦多面的機能支払交付金制度を活用し、農地の有する多面的機能の最大限発揮できるよう取り組む。
- ⑨WCSの生産により、地区内の畜産農家と耕畜連携の取り組みを推進する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
		別紙1のとおり				ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
			na	na		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	23経営体		28.69 ha	0 ha		28.49 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	伊万里市農業協同組合	へり防除	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	稲作,麦類作	1.34 ha	ha	稲作,麦類作	1.34 ha	ha	金武、内の馬場	
2	認農	水稻,麦	4.17 ha	ha	水稻,麦	4.17 ha	ha	西八谷搦	
3	認農	施設小葱,マ	ha	ha	施設小葱,マ	ha	ha		
4	認農	施設小葱,マ	1.29 ha	ha	施設小葱,マ	1.29 ha	ha	西八谷搦	
5	認農	施設小葱,マ	2.39 ha	ha	施設小葱,マ	2.39 ha	ha	川東	
6	認農	水稻,アスノ	ha	ha	水稻,アスノ	ha	ha		
7	認農	肥育牛,水稻	0.65 ha	ha	肥育牛,水稻	0.65 ha	ha	福母、内の馬場	牛9頭
8	認農	肥育牛,水稻	0.71 ha	ha	肥育牛,水稻	0.71 ha	ha	中田	
9	認農	水稻,玉葱,マ	0.77 ha	ha	水稻,玉葱,マ	0.77 ha	ha	西八谷搦	
10	認農	繁殖牛,水稻	2.12 ha	ha	繁殖牛,水稻	2.12 ha	ha	大里	牛17頭
11	認農	水稻,麦,たま	3.31 ha	ha	水稻,麦,たま	3.31 ha	ha	福母、内の馬場	
12	認農	施設胡瓜,マ	0.75 ha	ha	施設胡瓜,マ	0.75 ha	ha	福母	
13	認農	施設苺,水稻	0.77 ha	ha	施設苺,水稻	0.77 ha	ha	福母	
14	認農	肉用牛,水稻	1.48 ha	ha	肉用牛,水稻	1.48 ha	ha	飯盛	牛88頭
15	認農	施設野菜,マ	1.00 ha	ha	施設野菜,マ	1.00 ha	ha	大里	
16	認農	肉用牛	ha	ha	肉用牛	ha	ha		牛133頭
17	認農	水稻,麦,WC	1.71 ha	ha	水稻,麦,WC	1.71 ha	ha	大里、福母	
18	認農	水稻,繁殖マ	4.65 ha	ha	水稻,繁殖マ	4.45 ha	ha	大里	牛8頭
19	認就	施設胡瓜	0.16 ha	ha	施設胡瓜	0.16 ha	ha	福母	
20	到達	水稻	0.83 ha	ha	水稻	0.83 ha	ha	野添、吉野、飯盛	
21	到達	水稻	0.39 ha	ha	水稻	0.39 ha	ha	西八谷搦	
22	到達	肉用牛	ha	ha	肉用牛	ha	ha		牛82頭
23	到達	水稻	0.20 ha	ha	水稻	0.20 ha	ha	西八谷搦	



地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年10月22日 (第2回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	伊万里市 41205
地域名 (地域内農業集落名)	東山代地区 (白幡、日尾、長浜、天神、脇野、浦川内、里、東大久保、 大久保、下分、滝川内、川内野、日南郷)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	226.5 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	218.1 ha
② 田の面積	200.0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	25.9 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	60.9 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・本地区には13集落があり、住宅地付近や平坦地、中山間部など幅広く農地が広がっている。脇野集落や里集落には平坦な農地が広がっており、土地利用型の作物のほか、施設キュウリや施設イチゴ、パプリカの作付されている。また、脇野地区については国営団地があり、露地野菜や水稻などの作付けがなされている。

天神集落については、地区内に農業者はいるものの、出作ばかりであるため、天神集落として農業上の利用を行う農地はない状況である。

・地区内のうち3分の1の集落(脇野、浦川内、上大久保、滝川内、川内野)が中山間地域等直接支払交付金制度に取り組んでおり、農地の維持管理を行っている。このうち、川内野集落については指定棚田の認定を受けており、佐賀大学との連携による交流人口の増加に取り組んでいる。

・地区内には、施設キュウリや施設イチゴの認定農業者のほか、パプリカや施設イチゴを行う農業法人もある。また、東山代地区内には有機農業や減農薬に取り組む団体が2団体あり、収穫した米については米粉などへの活用がなされている。

・なお、当地区内で県営農業競争力強化農地整備事業が計画されており、その対象地域は「東山代干拓地区」として別に地域計画を策定する。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・平坦地に広がる農地については、裏作にも取り組むことにより収益性の高い経営を目指す。また、高齢等により営農が困難になった人の農地については認定農業者や集落の機械利用組合などの担い手を中心に農地の集積・集約に取り組む。

・多面的機能支払交付金制度を活用し、農地の持つ多面的な機能を最大限発揮できるよう農地の保全を図る。また、山間部の生産性の不利な農地については、中山間地域等直接支払交付金制度の活用や有害鳥獣対策の強化により農業生産活動を維持していくとともに、イノピカプロジェクト等の実施により中山間地域への交流人口の拡大を図る。

・環境保全型農業については、現在取り組む団体を中心に規模拡大を図り、有機農業や減農薬農業の取り組みを推進する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地バンクへの貸付を進めつつ、担い手(認定農業者、機械利用組合等)へ農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	17.8	%	将来の目標とする集積率	17.6	%
--------	------	---	-------------	------	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

個人ごとの営農が主であるため、集団化については近隣の農業者による協議により小規模での集団化を目指していく。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組

担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農業委員や農地利用最適化推進委員と調整し、農地中間管理機構を通じて進める。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農業委員や農地利用最適化推進委員と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。

(3) 基盤整備事業への取組

現時点で基盤整備事業に活用計画はない。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市及び県、JAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

水稻作付においてヘリ防除の利用を希望する農業者を伊万里市農業協同組合がとりまとめ、オペレーターを派遣しヘリ防除を行う。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①有害鳥獣の駆除や被害防止対策(侵入防止柵)を実施するほか、新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。
- ②有機農業・減農薬農業に取り組む団体を中心に、取り組み面積の規模拡大を図る。
- ③各種補助制度を活用し、ラジコン草刈り機やドローン等を導入し、農作業の省力化を図る。
- ⑦多面的機能支払交付金制度を活用し、農地の有する多面的機能の最大限発揮できるよう取り組む。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
		別紙1のとおり				ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
			na	na		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	23経営体		40.31 ha	0 ha		40.1 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	伊万里市農業協同組合	へり防除	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。



地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年10月8日 (第1回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	伊万里市 41205
地域名 (地域内農業集落名)	山代地区 (福川内、楠久、城、峰、高田、原、堀田、上揚、下場、波瀬 西分、西大久保、東分、野々頭、立岩下、立岩上)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	209.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	206.9 ha
② 田の面積	186.0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	23.5 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	74.4 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・本地区には16集落があり、海沿いの地域から山までの距離が短く、中山間地域が大部分を占める地域である。立岩集落には国営団地が2箇所あり、榊などの花木や柑橘類のほか、飼料作物の作付がなされている。また、国営内にはブルーベリーや甘藷を作付けし、観光農園の開設に向けた動きがある。

・各集落における農家の割合が大きく、地区内のすべての集落(福川内、茅野、城、峰、久原、西分、西大久保、東分、野々頭、立岩)で中山間地域等直接支払交付金制度を活用し、農地の維持管理に取り組んでいるが、次世代の農業者の確保が課題であり、集落によっては次期対策から取り組まない集落も出てきている。

・福川内集落で減農薬農業に取り組む団体があり、米の作付けを行っている。

・認定農業者は少なく、プロイラーや施設野菜に取り組む農業者がいる。

・山代地区内には機械利用組合等の組織がなく、農業者それぞれがトラクター等の農機具を有しているが、農機具の更新が課題となっており、機械利用組合や共同利用等の検討が必要になっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・地区内には山間部の生産性の不利な農地が多いため、中山間地域等直接支払交付金制度の活用や有害鳥獣対策の強化により農業生産活動を維持していくとともに、集落間の連携を検討し、ネットワーク化による組織体制の強化を図る。
・環境保全型農業については、現在取り組む団体を中心に規模拡大を図り、有機農業や減農薬農業の取り組みを推進する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地バンクへの貸付を進めつつ、担い手(認定農業者、機械利用組合等)へ農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	6.8 %	将来の目標とする集積率	6.8 %
--------	-------	-------------	-------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

個人ごとの営農が主であるため、集団化については近隣の農業者による協議により小規模での集団化を目指していく。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組

担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農業委員や農地利用最適化推進委員と調整し、農地中間管理機構を通じて進める。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農業委員や農地利用最適化推進委員と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。

(3) 基盤整備事業への取組

現時点で基盤整備事業に活用計画はない。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市及び県、JAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

水稻作付においてヘリ防除の利用を希望する農業者を伊万里市農業協同組合がとりまとめ、オペレーターを派遣しヘリ防除を行う。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①有害鳥獣の駆除や被害防止対策(侵入防止柵)を実施するほか、新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。
②有機農業・減農薬農業に取り組む団体を中心に、取り組み面積の規模拡大を図る。
③各種補助制度を活用し、ラジコン草刈り機やドローン等を導入し、農作業の省力化を図る。
⑦多面的機能支払交付金制度を活用し、農地の有する多面的機能の最大限発揮できるように取り組む。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		茶,大根	0.77 ha	ha	茶,大根	0.77 ha	ha	立岩	
認農		ブローラー,	0.84 ha	ha	ブローラー,	0.84 ha	ha	城	
認農		水稻,キウイ,すもも	1.26 ha	ha	水稻,キウイ,すもも	1.26 ha	ha	立岩	
認農		水稻,アスノ	4.18 ha	ha	水稻,アスノ	4.18 ha	ha	福川内、城	
認農		水稻,玉葱,	1.34 ha	ha	水稻,玉葱,	1.34 ha	ha	福川内、楠久、城、	
認農		花木,花卉	5.05 ha	ha	花木,花卉	5.05 ha	ha	立岩	
認農		ブローラー,水稻	0.64 ha	ha	ブローラー,水稻	0.64 ha	ha	城	
到達		水稻,茶	0.19 ha	ha	水稻,茶	0.19 ha	ha	立岩	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	8経営体		14.27 ha	0 ha		14.27 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	伊万里市農業協同組合	へり防除	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

